

# 経済・経営学会研究会のお知らせ

12月7日（木）14時-17時

10号館 第二大会議室

14時-15時



「馬」からみた戦前日本の軍事と産業

大瀧 真俊 氏（経済学部助教）

本報告では、日中戦争期における大量の軍馬動員、それが産業部門（特に農業）に及ぼした影響、長期戦化に伴う軍馬育成事業の民間委託などの実態を明らかにする。それらを通じて、戦前日本の総力戦体制に内在していた軍事と産業の矛盾を、「馬」を題材として描き出す。

15時-15時30分 質疑応答&コーヒープレイク



15時30分-16時30分



詩はイングランド銀行にあり

—1690年代貨幣危機の文学—

西山 徹 氏（経済学部教授）

名誉革命後の1690年代、イングランドは貨幣危機に見舞われていた。90年代の文学作品はこの時代の混乱を最小限に収め、新しい制度を何とか軟着陸させる役目を果たしたと思われる。本発表においては17世紀末の経済と文学の相互作用について考えたい。貨幣を語る文学は貨幣危機に倫理性を与えたが、貨幣危機の方は詩人に愛や詩作を語る一連の言語をもたらしたのである。

16時30分-17時 質疑応答

